

## ISO/TC 8(船舶及び海洋技術専門委員会)直属のWG担当分

議長: Mr. Yanqing Li(中国)、幹事国(中国・ドイツ)

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8 SC3から 移行	ISO 11711-1:2013	Ships and marine technology -- Piping and machinery -- Ballast water management systems -- Part 1: Discharge sampling apparatus	船舶及び海洋技術－配管及び機械－バラスト水管理システム－第1部: 排出サンプリング装置	バラスト処理システムが設計通り作動しているかを確認するために採取する船舶の排出管から処理済バラスト水のサンプルを採取するための装置の材料、設計及び取付けに関し、乗員その他の関係者へ手引きとして取り纏めたもの。	2013.02.15	—
TC8 SC3から 移行	ISO 11711-1:2019	Ships and marine technology -- Aquatic Nuisance Species -- Part 1: Ballast water discharge sample port	船舶及び海洋技術－水棲有害生物種－第1部: バラスト水排出サンプリング装置	本規格は、バラスト水を排水する前に排水パイプから代表サンプルを得るために要求されるサンプルポートの設計および搭載に関する指針を取り纏めている。  2019年4月にFDIS投票が承認され、5月に正式なISO規格として制定した。	2019.05 (制定)	—
TC8	ISO/AWI 11711-2	Ships and marine technology -- Ballast water sampling and analysis -- Part 2: Ballast water sample collection and handling	船舶及び海洋技術－バラスト水サンプリング及び分析- 第2部: バラスト水サンプルの収集及び取扱い	船上におけるバラスト水のサンプル収集及び加工に必要なサンプリング装置の選定及び使用に関するガイダンス。サンプルプローブ、代表的なサンプリングの制約を満足するための制御能力を有するサンプル収集装置の設計に関する規定も含む。  2019年6月のISO/TC 8/WG 12釜山会議の審議の結果、近日中にCIB(委員会内投票)にて意見を募集し、本年12月又は2020年1月に開催予定のWG 12会議で審議を行うことを決定した。	2018.07.30 NP投票承認  WD作成中	—
TC8 SC11から 移行	ISO 15849:2001	Ships and marine technology -- Guidelines for implementation of a fleet management system network	船舶及び海洋技術－フリートマネジメントシステムネットワークの実施のための指針	船主及びフリートマネジメントシステム(FMS)ネットワーク・コンピュータ・サービスの運用者に、その選定と実施についての概要と、実施の際の指針について取り纏めたもの。 この規格には次のものが含まれている。 a) 広域ネットワーク、データ伝送サービス及び共通のデータベース設備を含む、一般的インフラストラクチャーに関する指針 b) アプリケーションプログラムへのサービスを含む、船上設備に関する指針 c) アプリケーションプログラムへのサービスを含む、陸上設備に関する指針	2001.11.01	JIS F 0075:2003 (IDT)
TC8 SC11から 移行	ISO 15849:2001/Amd 1:2003	同上	ISO 15849:2001修正票1:2003	ISO 15849に規定されているSITP(Ship Information Technology Platform)及びLITP(Land-based Information Platform)に適用される場合のアプリケーション・プログラム・インターフェースの設計仕様書の例を附属書Aとして追加したもの。	2003.09.01	同上

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO 20519:2017	Ships and marine technology -- Specification for bunkering of gas fuelled ships	船舶及び海洋技術—ガス燃料船の バンカリング用仕様	<p>この国際規格は、IGCコードによりカバーされない、LNG燃料船に燃料を積むために用いるLNG/バンカリング移送システムおよび設備の要件を取り纏めたもの。この標準の範囲は以下の5つの要素を含む。</p> <p>1) ハードウェア：液体およびガスの接続(フランジ、ホース、ドライディスコネクト、ERSおよび緊急遮断(ESD1/2))</p> <p>2) バンカリングオペレーションにおける緊急事態対応の計画立案に資する、操作の手続、通信、個人保護装置(最小機能要件)の要件化。バルブ閉鎖時、メンテナンスおよび検査時の対応も考慮。LNG供給者と船のオペレータ用の要件として、IMOのIGFコードの18.2.3項で定められている燃料取り扱いマニュアルと非常時手順詳細についても定めている。</p> <p>3) 燃料品質、温度、密度およびネットエネルギー量の測定法および算出法。</p> <p>4) 作業者の訓練および資格。</p> <p>5) 適用可能なISO標準および地域規則へ合致させるための液化天然ガス設備の要件</p> <p>・また、Bunker safety checklistもAnnexとして掲載。</p> <p>本件開発のためTC8/WG8が設置され、2015年2月に第1回会議を、2015年6月に第2回会議を開催した。元々TC8/WG8で審議されていたが、WG8コンビーナがTC8/SC11議長に就任したことに伴い、2016年6月のTC8/SC11会議で、この規格の開発をTC8/SC11へ移管することを決議した。しかし、2016年9月開催のTC8総会では、TC8議長はTC8/WG8での作業継続を指示し、TC8所管に変更になった。</p> <p>CCC 2/3/2として本件開発状況をIMOへ報告</p>	2017.02	—
TC8	ISO/DIS 20661	Hopper dredger supervisory control system	ドラグサクシオン浚渫設備(システム) の標準化	<p>ドラグサクシオン浚渫設備(システム)の技術要件、試験方法、検査基準、表示、パッケージング、移送およびストレージなどについて取りまとめたもの。【中国提案】</p> <p>2015年6月：第1回ISO会議を開催 2015年10月：第2回ISO会議を開催 2016年8月：第3回ISO会議を開催 2019年3月：第4回ISO会議を開催</p>	2019.07.05 DISのFDISとしての登録	—
TC8	ISO/DIS 20662	Cutter dredger supervisory and control system	カッター浚渫設備(システム)の標準 化	<p>カッター浚渫設備(システム)の技術要件、試験方法、検査基準、表示、パッケージング、移送およびストレージなどについて取りまとめたもの。【中国提案】</p> <p>2015年6月：第1回ISO会議を開催 2015年10月：第2回ISO会議を開催 2016年8月：第3回ISO会議を開催 2019年3月：第4回ISO会議を開催</p>	2019.07.05 DISのFDISとしての登録	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO/DIS 20663	Grab dredger supervisory control system	グラブ(掘上げ)浚渫設備(システム)の標準化	<p>グラブ(掘上げ)浚渫設備(システム)の技術要件、試験方法、検査基準、表示、パッケージング、移送およびストレージなどについて取りまとめたもの。【中国提案】</p> <p>2015年6月:第1回ISO会議を開催 2015年10月:第2回ISO会議を開催 2016年8月:第3回ISO会議を開催 2019年3月:第4回ISO会議を開催</p>	2019.07.05 DISのFDISとしての登録	—
TC8	ISO 21593	Marine LNG fuel bunkering quick connect/disconnect coupling standard	船のLNG燃料供給口の急速着脱機構	<p>燃料としてLNGを用いる船舶の燃料補給に用いられるカップリングの急速着脱機構に関する要件を取り纏めたもの。この標準は、以下の内容を含む。</p> <p>(1)一般的な設置とパフォーマンスの要件。 (2)ノズルのための技術的要件。 (3)レセプタクルのための技術的要件。 (4)標準タイプと寸法。 (5)基本的な情報を含むカップリングへのマーク。 (6)水圧試験、動作テスト、衝撃試験及び破断試験の要件等。</p> <p>本件は、IMO/MSC(海上安全委員会)及びCCC(貨物運送小委員会)から、船の燃料供給口のフランジへの急速着脱機構に関するISO規格開発着手がISO/TC8に要請されたことに基づく。</p> <p>TC67/SC9(液化天然ガス用設備及び装置分科委員会)でもSCOPEを全く同じにするNP投票が行われ、可決されたが、TC67議長及び幹事、TC8議長との間で対応が協議され、ダブルスタンダード化を避けるため、TC67/SC9がNPを撤回し、TC8/SC11が規格策定を進めることになった。</p> <p>2016年9月開催のTC8総会にて、TC8議長は本件の開発をTC8/SC11ではなく、TC8/WG8で行うことを指示した。</p> <p>ただし、ISO/TC 67で作成されたISO/TS 18683:2015のAnnex Gで定めているカップリングとこのISO規格案で定めるカップリングとは、寸法が異なるため、互換性はない。</p>	2019.07.15	—
TC8	ISO/CD 22547	Ships and marine technology -- Performance test procedure for high-pressure pump in LNG Fuel Gas Supply Systems (FGSS)	船舶及び海洋技術—LNG燃料ガス供給システム(FGSS)における高圧ポンプの性能試験手順	船舶の燃料ガス供給システム(FGSS)へLNGを移送するための電気モーターにより稼動する補機に備えられる往復ポンプ等機器の性能確認のための試験手順を提案している。	2018.09.07 CD省略承認投票が承認	—
TC8	ISO/CD 22548	Ships and marine technology -- Performance Test Procedure of Ship's LNG Fuel Gas Supply Systems (FGSS)	船舶及び海洋技術—船舶のLNG燃料ガス供給システム(FGSS)の性能試験手順	LNG燃料船の往復動内燃機関へのLNG燃料供給のために製造されるFGSSに関する圧力、流量、気温等の性能試験方法を提案している。	2018.09.07 CD省略承認投票が承認	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO/PAS 22853:2005	Ships and marine technology -- Computer applications -- Specification of Maritime Safety Markup Language (MSML)	船舶及び海洋技術—コンピュータアプリケーション—海上安全に関するマークアップ言語(MSML)の仕様書	修理及び保守に関する安全関係の情報を記録することを可能にする海上安全に関するマークアップ言語(MSML)について取り纏めたもの。	2005.10.01	—
TC8	ISO/NP 23152	Ultraviolet Ballast Water Management System-- Mathematical Modeling and Calculations on Scaling -- RANS-DO Modeling	紫外線バラスト水管理システム—スケールリングに関する数学的モデリングおよび計算—RANS-DOモデリング	紫外線バラスト水管理システム(UVBWMS)のスケールリングに関するRANS-DOモデリングの計算方法を取り纏めたもの。数学的モデリングおよび計算は、システム性能に影響を与える可能性のあるパラメータがベースユニットおよびスケールユニットの間で等しくなるようにしている。スケールリングされたユニットの設計は、潜在的にベースユニットの性能要件を満たすことができるとしている。 また、本規格はUVBWMS上の離散モデルのスケールリングに適用され、ベースユニットとスケールリングユニットの組み合わせには適用されないとしている。  2019年6月に開催のISO/TC 8/WG 12釜山会議において原案を大幅に見直した結果、近日中にCD投票を実施することを決定した。	2018.01.04 NP投票承認  WD作成中	—
TC8	ISO/NP 23314-1	Ballast water management systems (BWMS) - Risk assessment - Part 1: General principles	バラスト水管理システム—リスク評価—第1部: 一般要件	BWMSが船上に設置される際の、健康およびリスク評価の一般的手法を規定する。また、評価すべき船上のBWMSの構成部品の概要および検討すべき環境を規定する。	2018.10.22 NP投票承認  WD作成中	—
TC8	ISO/NP 23314-2	Ballast water management systems (BWMS) - Risk assessment - Part 2: BWMS using electrolytic methods	バラスト水管理システム—リスク評価—第2部: 電解質手法を用いたBWMS	ISO 12100に従い電解質手法を用いたBWMSのリスク評価およびリスク低減を実施する際のガイダンス。ハザードの同定およびリスクの予測及び評価のプロセスの手順や例を示す。  2019年6月に開催されたISO/TC 8/WG 12釜山会議において原案の大幅な見直しを行った結果、近日中に意見集約のためのCIB(委員会内投票)を行うことを決定した。	2018.10.22 NP投票承認  WD作成中	—
TC8	ISO/NP 23315-1	Ballast water management systems (BWMS) - Risk mitigation measures - Part 1: General principles	バラスト水管理システムのリスク軽減—第1部: 一般原則	ISO 23114で同定される船上にBWMSが設置される場合の、BWMSに関連するリスクを低減するための一般手法を規定する。	2018.10.22 NP投票承認  WD作成中	—
TC8	ISO/NP 23315-2	Ballast water management systems (BWMS) - Risk mitigation measures - Part 2: BWMS using electrolytic methods	バラスト水管理システムのリスク軽減—第2部: 電解質手法を用いたBWMS	電解質手法を用いたBWMSのリスク緩和手法に関するガイダンス。リスク緩和のため、起こり得るリスクのシナリオの同定、リスク緩和の設計及び搭載要件を規定する。	2018.10.22 NP投票承認  WD作成中	—
TC8	ISO/AWI 23448	Ships and marine technology -- LNG bunker fuel mass flow meters -- Requiriements	LNGバンカー燃料質量流量計—要件	この規格は、受領したLNGバンカー燃料の正確な計算と測定のための船舶の環境と質量流量計の試験要件を取り纏めたもの。ただし、この規格は、燃料の移送作業等のバンカー作業の手続き上の問題全体には対応していない。この手続きについては、ISO 20519「船舶及び海洋技術—ガス燃料船のバンカリング用仕様」を参照。移送作業中の液体貨物の測定に関する追加勧告については、OIML R117も参照のこと。	2018.06.12 NP投票承認	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO/AWI 23780	Ships and marine technology - Procedure for testing the performance of continuous monitoring TRO sensors used in ships (旧題: Performance test procedure of continuous monitoring TRO sensor in ship use)	TRO(バラスト水中の総残留オキシ ダント)常時監視センサの性能試験 手順	この規格は、船舶で用いられるTRO(バラスト水中の総残留オキシダント)を常時監視するセンサの性能試験手順を取り纏めたもの。  2019年6月に開催されたISO/TC 8/WG 12釜山会議において原案の大幅な見直しを行った結果、意見集約のためのCIB(委員会内投票)を近日中に実施し、その結果を以て、CD投票のための原案に反映することとした。また、同会議において、規格のタイトルを変更した。	2019.01.03 NP投票承認  WD作成中	—
TC8	ISO/AWI 23799	Ships and marine technology -- Assessment of onboard cyber safety	船舶及び海洋技術－船上サイバー セーフティの評価	船上でのサイバーセーフティリスクを評価するための一般的な方法を提供する。それは無線通信と陸上ベースのシステムを除く、船上システム内のネットワーク接続に適用する。その標準は、①用語と定義、②船上のサイバーリスク特定、③サイバー資産評価、④サイバーリスク分析基準、⑤規制措置識別、⑥評価の割り当て、から構成される。	2019.03.21 NP投票可決	—
TC8	ISO/AWI 23806	Ships and Marine Technology -- Cyber safety	船舶及び海洋技術－サイバーセーフ ティ	この規格は、リスク評価手法によるサイバー安全要件を定めたものであり、SMS(Safety Management System)(ISM Code[国際安全管理コード]で定められている要件を満たす安全管理システム)に組み込んで運用されることを想定したもの。船舶管理者に求められているSMSの策定・実施・維持の活動に併せて運用されることで、サイバー安全の継続的な改善が図られるとしている。	2018.12.16 NP投票承認	—
TC8	ISO/AWI 23860	Ships and marine technology -- Terminology related to automation of Maritime Autonomous Surface Ships (MASS)	船舶及び海洋技術－自動運航船 (MASS)に関連する専門用語	この規格は、自動化システム自体及びその分類を含む、自動運航船(MASS)の自動化システムの運航過程に関連して、MASSの概念を記述するための専門用語を定義したもの。	2019.02.01 NP投票承認	—
TC8	ISO 28004-2:2014	Security management systems for the supply chain -- Guidelines for the implementation of ISO 28000 -- Part 2: Guidelines for adopting ISO 28000 for use in medium and small seaport operations	サプライチェーンのためのセキュリ ティマネジメントシステム－ISO 28000 の実施のための指針－第2部:ISO 28000を中小港湾のオペレーションに 適用するための指針	ISO 28000を中小港湾のオペレーションに適用するに際しての指針として自己認証基準を取り纏めるもの。	2014.02.01	—
TC8	ISO 28007-1:2015	Ships and marine technology -- Guidelines for Private Maritime Security Companies (PMSA) providing privately contracted armed security personnel (PCASP) on board ships (and pro forma contract)	船舶及び海洋技術－民間武装警備 員を供給する民間海上警備会社 に関する指針(及び見積り契約書)	危険海域における海賊対策として乗船させる民間警備員を供給する民間海上警備会社が具備すべき事項を取り纏めたもの。BIMCOが作成した標準契約書を附属書Aとして添付している。 ※ISO 28007として作業が開始されたが、ISO 28007-2の作成作業開始に伴いISO28007-1に変更	2015.04.01	—



担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO 29400:2015	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Ports and marine operations	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－港湾及び海洋での作業	鋼製基礎およびコンクリート製GBS (gravity base structure)、鋼製基礎パイル、サブシーテンプレート、風力タービン発電機の構成部品である鋼製タワー、ナセル、羽根等のオフショア構造物の港湾及び海上での作業に係る要求事項及び手引きを取り纏めたもの。 この規格は、追加モジュールの搭載や構成部品の交換といった既設構造物の変更にも適用可能である。なお、この規格は海洋環境にさらされない陸上の建設作業、オフショア構造物の供用期間中の海上でのルーチン作業や潜水作業には適用できない。	2015.05.01	—
TC8	ISO/DIS 29400	同上	同上	ISO 29400:2015が2015年5月1日付で制定される前に実施されたFDIS投票において各国から提出された多岐に渡る意見を審議するため、以下のTC8総会決議を以て改正作業の実施が採択された。  ISO/TC8 Resolution 329 ISO/TC8 agrees to open ISO 29400:2015 for revision as proposed by WG3 in TC8/WG3/N68. The project leader is to be Kerstin Wessel (DIN). The revision is to include further development as proposed in N68 with a target date 24 months from registration date. The TC8 Secretary is to initiate a call for experts.	2018.09.19 DIS投票承認	—
TC8	ISO 29404:2015	Ships and marine technology -- Offshore wind energy -- Logistics -- Supply Chain Information Flow	船舶及び海洋技術－洋上風力エネルギー－ロジスティクス－サプライチェーン情報フロー	洋上風力エネルギー施設の建設時又は保守時における構成部品のサプライヤーから建設サイトまでの物理的移動を制御するためのメッセージの内容及びフォーマットを取り纏めるもの。	2015.12.01	—
TC8	ISO 30000:2009	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Specifications for management systems for safe and environmentally sound ship recycling facilities	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－安全で環境に優しいシップリサイクル施設のマネジメントシステムの仕様	国内基準及び国際基準に従って安全で環境に優しいシップリサイクル作業を実施するために必要な船舶のリサイクルマネジメントシステムの一連の手順、ポリシー及び目的についての要求事項を取り纏めたもの。	2009.03.15	—
TC8	ISO 30002:2012	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Guidelines for selection of ship recyclers (and pro forma contract)	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－シップリサイクル事業者選定のための指針(及び見積契約書)	船舶所有者に対するシップリサイクル施設選定の際の選定プロセスや契約フォーマット等の指針について取り纏めたもの。	2012.06.15	—

担当	規格番号	標題	標題(邦訳)	概要	制定等年月日	JIS化の状況
TC8	ISO 30003:2009	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Requirements for bodies providing audit and certification of ship recycling management	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－シップリサイクルマネジメントシステムの監査及び認証を行う団体の要件	ISO30000の規定に沿ったシップリサイクルマネジメントシステムに係る監査及び認証業務を行う組織・団体への原則及び要求事項を取り纏めたもの。	2009.10.01.	—
TC8	ISO 30004:2012	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Guidelines for the implementation of ISO 30000	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－ISO 30000の実施のための指針	ISO 30000の原理・原則を解説するとともに各要求項目の趣旨、典型的インプット、プロセスと典型的アウトプットについて記述し、ISO 30000の包括的な指針を取り纏めたもの。	2012.07.15.	—
TC8	ISO 30005:2012	Ships and marine technology -- Ship recycling management systems -- Information control for hazardous materials in the manufacturing chain of shipbuilding and ship operations	船舶及び海洋技術－シップリサイクルマネジメントシステム－造船の製造チェーン及び船舶運航時における有害物質の情報管理	シップリサイクル条約の規定に適合した有効かつ標準化された矛盾のない方法で有害物質に係る情報を管理、伝達、維持するための指針について取り纏めたもの。	2012.05.15.	—
TC8	ISO 30006:2010	Ship recycling management systems -- Diagrams to show the location of hazardous materials onboard ships	シップリサイクルマネジメントシステム－船上に存在する有害物質の場所を示す図表	シップリサイクル条約で義務付けられている有害物質一覧表(インベントリ)に関するシップリサイクル業者の理解を助けることとなる船上に存在する有害物質の場所を示す図表に係る要求事項を取り纏めたもの。【日本主導】  2014年10月開催のISO/TC8総会において、IMOにおける討議および欧州域内規制を考慮した改正を行う必要性がTC8/SC1議長から指摘され、日本船用品検定協会 吉田公一氏を議長として、1年間の作業期間での改正に着手することが合意され、2014年にAWIとして登録されたが、改訂が取りやめになった。	2010.12.15.	—
TC8	ISO 30007:2010	Ships and marine technology -- Measures to prevent asbestos emission and exposure during ship recycling	船舶及び海洋技術－シップリサイクル時のアスベスト飛散と曝露防止対策	シップリサイクルの際に船舶に使用されているアスベストの発じんを抑制して、一般環境への飛散及び作業者の曝露を防ぐための有効な方法について取り纏めたもの。【日本主導】  2014年10月開催のISO/TC8総会において、IMOにおける討議および欧州域内規制を考慮した改正を行う必要性がTC8/SC1議長から指摘され、日本船用品検定協会 吉田公一氏を議長として、1年間の作業期間での改正に着手することが合意されたが、2015年10月開催のISO/TC8総会において、業界要望も無く改訂する必要性がないとの結論に至り、改訂を取りやめた。	2010.12.01.	—